

「分析支援プログラム」を活用した効果的な取組事例【春日部市教育委員会】

校種	小学校	教科名	国語	観点・内容	読むこと
<p>&lt;調査結果&gt;</p> <p>読むことにおいて、県平均正答率を4.9ポイント上回っている。特に「文章の要点を読み取ること」では、14.4ポイント上回っている。また、「段落の内容を的確に読み取ることができる」のポイントも高くなっている。</p> <p>&lt;具体的な取組&gt;</p> <p>本校では、市教委研究委嘱モデル校の委嘱を受け、研究主題を「生きる力としての国語力を育てる国語教室の創造 ～豊かな言語能力を身につける言語活動の充実～」とし、国語科を中心として研究に取り組んでいる。具体的な取組は以下のとおりである。</p> <p>1 国語科の授業の充実</p> <p>(1) 目的意識・相手意識を持った「読む・話す、聞く・書く」活動の充実</p> <p>本校では、授業の中で「交流」場面を意図的に設定し、国語科の授業の充実を図っている。特に、児童が表現する場面においては目的意識・相手意識を常に持ち、伝えあうための工夫なども意識させながら「交流」場面の充実を図った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>ペアでの交流(低学年)    グループでの交流(中学年)    全体での交流(高学年)</p> <p>(2) 学習のルールなどの共通理解</p> <p>どの先生でも、どの学年でも学習のルール(規律)を同じにすることで継続して指導することができ、授業内容の充実につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声のものさしの掲示</li> <li>・授業の10の約束</li> <li>・授業最初、最後の挨拶</li> </ul> <p>2 日常的な取組</p> <p>(1) 学校図書館の活用と読書活動の充実</p> <p>地域のボランティアの方による毎週月曜日朝、毎週水曜日昼休みの読み聞かせ、第5火曜日の朝、担任による読み聞かせを行うことで、本に興味を持ち、読書好きの児童を増やしている。毎週末には家庭での読書を推奨する活動も続けている。</p>  <p>(2) 朝の活動の充実</p> <p>毎週木曜日の朝の時間を「書き取り・作文」として取り組んでいる。漢字の書き取り、よい文章の視写、学校行事終了後の作文など、各学年の発達段階に応じた課題を明確にし、基礎的・基本的な知識、技能の習得を目指している。</p> <p>&lt;取組の成果&gt;</p> <p>児童に着実に力を付けるために、国語科の授業はもちろん、日常の取組の充実を図ったことで①読書好きの児童の増加 ②音読や朗読の上達 ③交流を通して聞く態度の育成、理解力の向上につながっている。書くことにおいても県平均正答率を9.4ポイント上回っている。読むことの取組が他の内容により影響を与えていると考えられる。</p>					